

# The World Wide Web (WWW)

---

はしもとじょーじ

# WWW

---

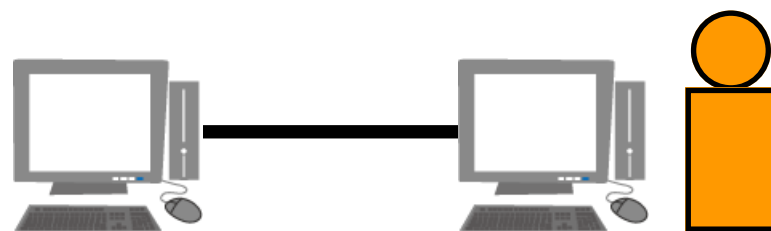
## インターネットで標準的に用いられる文書の共有システム

- 欧州核物理研究所(CERN)の論文閲覧システム
- W3C が標準化
- ハイパーメディア
  - 他のデータへの参照(リンク)を含む
- HTML (HyperText Markup Language)

# WWW の基本的な仕組み

---

- Webブラウザ と Webサイト
- HTTP



- (1) ユーザーがURLを入力
- (2) Webブラウザが「HTTPリクエスト」を送信
- (3) Webサイトが「HTTPレスポンス」を送信
- (4) WebブラウザがHTTPレスポンスを解釈してWebページを表示

# SSL (Secure Socket Layer)

---

## 認証局によるSSLサーバ証明書

- サイトの实在証明
  - 暗号化通信のための公開鍵
- 
- 通信が暗号化されると，Webブラウザーには錠マークなどが表示される。
  - SSLに対応したWebサイトのURL(アドレス)は「https」で始まる。

# マークアップ言語 (mark-up language)

---

文書の構造を示す目印を、文書に埋め込むことができる言語

- 文書の構造とは、ここは表題、ここは箇条書き、といったようなこと

# HTML (HyperText Markup Language)

---

## WWW で使われるマークアップ言語

文書にタグを埋め込むことでマークを付ける

– `<>` で括られた範囲がタグになる

例 : `<html>`, `</html>`, `<br>`

– HTML 文書の例

```
<html>
  <head>
    <title>HTML 文書の例</title>
  </head>
  <body>
    <h1>HTML 文書の例</h1>
    <h3>HTML 文書の作り方</h3>
    <p>
      文章にタグを埋め込めば HTML 文書になります.
    </p>
    <h3>タグを使ってできることの例 2 つ</h3>
    <ul>
      <li>箇条書き
      <li>強調(<strong>太字</strong>,<em>斜体</em>,etc)
    </ul>
  </body>
</html>
```

# HTML 文書の例

## HTML 文書の作り方

文章にタグを埋め込めば HTML 文書になります。

## タグを使ってできることの例 2つ

- 箇条書き
- 強調(太字,斜体,etc)



# HTML 文書の構造

---

<html> で始まり </html> で終わる

大きくふたつの部分「ヘッダ」と「本体」からなる

- ヘッダ

<head> で始まり </head> で終わる

- 本体

<body> で始まり </body> で終わる

# HTML タグ

---

- タグは `<と>` で挟んで書く
- タグとその中身は半角英数で書く
- `<abc>` で開いたタグは `</abc>` で閉じる

## タグの例

見出し(heading) `<h1>`, `<h2>`, `<h3>`, ...

箇条書き(list) `<ul>`, `<ol>`, `<li>`

太字 `<strong>`, 斜体 `<em>`

他にもいろいろあるので調べてみるとよい

# ハイパーリンク (Hyper Link)

---

文書内に埋め込まれた情報資源の位置情報

```
<a href="http://earth.desc.okayama-u.ac.jp/">岡山大学理学部地球科学科</a>
```

ウェブ上の表示

岡山大学理学部地球科学科

クリックすると以下の場所にとぶ

<http://earth.desc.okayama-u.ac.jp/>

# URL (Uniform Resource Locator)

---

インターネット上にある情報資源の場所を指し示す記述方式

`http://earth.desc.okayama-u.ac.jp/index.html`

- 先頭の http は通信プロトコル
- earth.desc.okayama-u.ac.jp はデータを持っているコンピュータの名前
- index.html はコンピュータの中でのデータの名前(ファイル名)

# 個人のホームページ

---

## 公開用ディレクトリ

earth サーバでは、各個人のホームディレクトリの下に **public\_html** が公開ディレクトリとなる

- ディレクトリのモード            r-xr-xr-x
- 公開するファイルのモード    r--r--r--

## 個人ホームページの URL

<http://earth.desc.okayama-u.ac.jp/%7Euser/>

# URL とファイルの対応

---

## ユーザ名が hoge の場合

<http://earth.desc.okayama-u.ac.jp/%7Ehoge/tako.html>

→ [earth:/home/hoge/public\\_html/tako.html](earth:/home/hoge/public_html/tako.html)

<http://earth.desc.okayama-u.ac.jp/%7Ehoge/sushi/tako.html>

→ [earth:/home/hoge/public\\_html/sushi/tako.html](earth:/home/hoge/public_html/sushi/tako.html)

<http://earth.desc.okayama-u.ac.jp/%7Ehoge/>

→ [earth:/home/hoge/public\\_html/index.html](earth:/home/hoge/public_html/index.html)

# ページ作成の注意事項

---

公開用ディレクトリに置いたものは全世界に公開されます(実際に見る人がいるかどうかは別ですが)

- **個人情報**

知られても困らない範囲で

- **メールアドレス**

アドレスの直書きは避ける(スパムを呼び込むようなもの)  
画像にして置く/文字を置き換えて書く

- **法や倫理に反することはしない**

# 完全記録社会

---

内田樹・岡田斗司夫FREEex, 評価と贈与の経済学

ネット社会だから失敗ってというのが許されない。なんでかっていうと失敗はブログの記録に残って生涯指摘されるからです。(中略) ぼくらはその失敗というのが忘れられる時代だったんだけど、彼らは完全記録時代に生きてるから。

石渡嶺司, 大学の思い出は就活です(苦笑)

ネットが元で就活や大学生活がダメになったという事件は、2000年代以降、毎年のように起こっています。